



# やるべきなる糸を！

武雄市議会議長　牟田 勝浩

## 新年明けまして おめでとうございます

皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は東日本大震災が発生し、日本全国民があらためて家族、地域の絆を再確認させられた年でした。

市民の皆様方には、いち早く義援金や物資支援活動に取組んでいただき、皆様方のあたかい思いやりや絆を垣間み、日本国民はまだまだ捨てたものではないと確信したところです。

災害発生時には、市長、有志議員がいち早く被災地の仙台市へ出動し、瓦礫の撤去作業等を行いました。一刻も早く現地に向き、何が必要とされている

か肌で感じたところです。

その後、市民、企業、行政が一体となつた被災地支援活動タク

ン・サポート「チーム武雄」に取り組み、総勢約百二十名のボランティアスタッフが二十四時間かけて被災地へ移動、瓦礫の撤去などの活動をしてきたところです。

今後も市民、行政、議会と一体となつた被災地支援活動を継続していきたいと思います。

明るい話題としては、昨年新武雄病院のオープン、武雄北方インター工業団地の分譲開始など、武雄の明るい未来に向けて、

医療環境や雇用の場創出のための環境が整備されました。

国内外の経済情勢は依然として、円高ドル安で、先行きに不透明感があります。限られた財

源をどのように施策に充てるべきか、いま地方の力量が問われております。

武雄市議会といたしましても、開かれた議会を目指し、武雄市民の安全・安心、そして暮らしと雇用を守るために、より一層尽力してまいる所存でございます。

期待と可能性を秘めたすばらしい武雄市を創りあげるため、今後とも皆様方の尚層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げるとともに、ご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

